

編集後記

総合社会学部研究紀要編集委員長 遠藤 央

総合社会学部に実践社会学科が新たに設置され、新しい教員が赴任された。今回の紀要には、従来からある総合社会学科と新しい実践社会学科に移られた教員の方々が積極的に投稿されたため、久しぶりに厚みのある紀要となった。ぜひお読みいただきたい。

とはいっても、少子化の進行が予想以上で、大学の将来は厳しいものがある。それだけではなく、日本における高等教育政策の方針には、懸念の声が絶えない。国立大学の統合も進行している。ただ、統合自体は、筆者がある国立大学で教職員組合の支部長をしていた30年ほど前に、当時の文部省の内部情報として漏れ聞こえていたものであり、最近の政策ではない。

大きな変化は、国立大学を早期にやめて私立大学に移る教員が普通になったことであろう。筆者が本学に移ったときには、会う人々から一様に「国立やめる？」といわれたほどである。

今後の高等教育、とくに人文・社会科学系のそれがどのようになっていくのかは、注視せざるを得ない大きな問題であろう。それに焦点を合わせた紀要を近いうちにぜひ編集してみたい。

執筆者紹介（掲載順）

中 鷗	剛	京都文教大学総合社会学部総合社会学科教授
河 本	直 樹	京都文教大学総合社会学部総合社会学科教授
小 林	康 正	京都文教大学総合社会学部実践社会学科教授
林	雅 清	京都文教大学こども教育学部こども教育学科教授
中 山	紀 子	中部大学国際関係学部国際学科教授
平 塚	力	京都文教大学総合社会学部総合社会学科准教授
多 湖	雅 博	京都文教大学総合社会学部総合社会学科講師
金	基 淑	元京都文教大学総合社会学部総合社会学科教授
中 西	勝 彦	京都文教大学総合社会学部実践社会学科助教
平 岡	聡	京都文教大学臨床心理学部臨床心理学科教授

※「追悼 西川祐子先生の思い出」ご寄稿者は

当該頁「ご寄稿者一覧」をもってご紹介に代えさせていただきます

2024年度編集委員会

*遠藤 央 小林 康正

*編集委員長

京都文教大学 総合社会学部研究紀要 第二十六集

2025(令和7年)3月31日 発行

発行 京 都 文 教 大 学

〒611-0041 京都府宇治市横島町千足80 電話 (0774) 25-2400

印刷 (株)あおぞら印刷

〒604-8431 京都市中京区西ノ京原町15 電話 (075) 813-3350